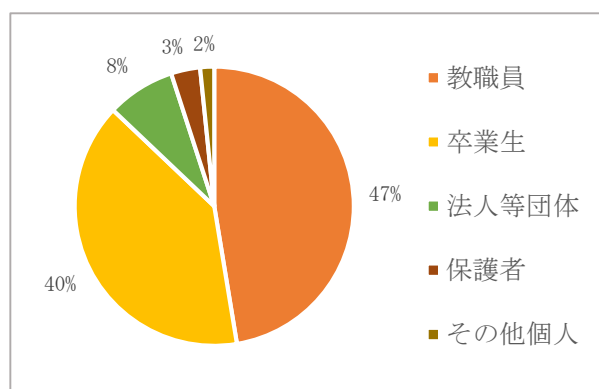


信州大学知の森基金平成 26 年度事業報告

1. 事業実施概要

1.1. 寄附の受け入れ状況

知の森基金全体として、平成 26 年度は 15,521,818 円の寄附を受け入れました。属性別の寄附状況は下図の通りですが、教職員の比率が最も大きく 47%で、次いで卒業生の 40%という結果になりました。平成 26 年度の寄附を募るにあたり、法人等の団体への告知が十分ではなかったため、法人等団体による寄附の占める割合が、他大学の基金と比較して少なくなっています。この点については、翌年度以降に力を入れていきます。



1.2. 支援事業の実施状況

<事業 1：信州大学知の森基金奨学金>

大学進学を希望しながら、学業優秀であるが経済的理由による進学を断念せざるを得ない高校生に対して、入学時に必要となる学資の一部を支援することを目的としています。平成 26 年度は、本学入学者の 6 名に対してそれぞれ 40 万円を支給しました。



<事業 2：グローバル人材育成支援>

国際社会へ視野を広げるモチベーションづくりとして、各学部や国際交流センター等で企画されるプログラム等に対して、往復渡航費の一部を支援する等の経済的支援を行う事業です。平成 26 年度は、16 プログラム（述べ対象者 108 名）に対して合計 659 万円の支援を行いました。

以下に、支援を行ったプログラムの一部を掲げます。

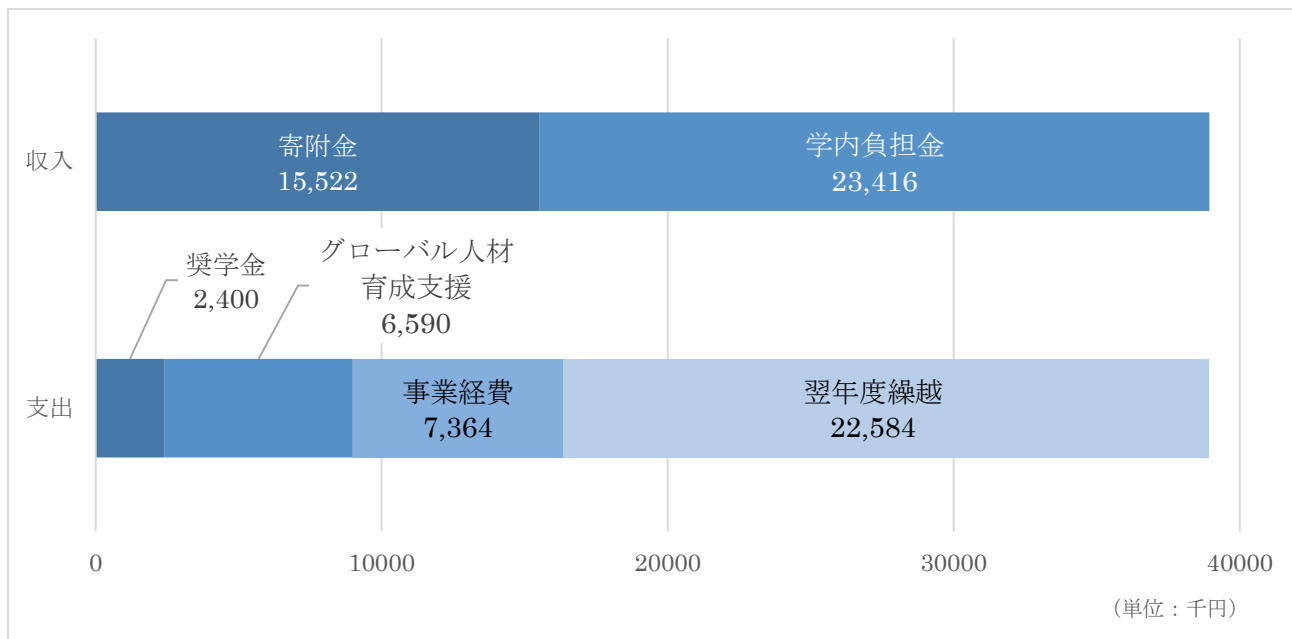
プログラム名	支援人数	支援総額
信州大学 オーストラリア・ニューカッスル大学研修	22 名	1,320 千円
マレーシア、サラワク州での農山村調査法実践演習プログラム	10 名	600 千円
ドイツ環境ゼミ：環境マインドをもったグローバル人材育成のためのドイツ視察研修旅行（語学研修＋環境関連視察）	8 名	560 千円

1.3. 基金全体に関する活動状況

古本募金（書籍等を用いた寄附制度）の導入を行い、平成 27 年度より受入を開始します。また、当基金の活動推進に助力いただくべく、本学関係者から構成される知の森基金後援会が設立されました。その他、当基金を広く周知する目的で、同窓会組織等へのパンフレット配布による広報活動を実施しました。

2. 知の森基金収支報告

平成 26 年度の事業実施に伴う収支は下記の通りとなりました。



知の森基金への寄附金受入額は 15,522 千円となり、他の寄附金からのオーバーヘッド等による学内負担金を含めると、収入の合計は 38,938 千円となりました。一方で、支援事業に合計 8,990 千円、事業実施に伴う経費として 7,364 千円の支出がありました。寄附金システム導入に伴う初期費用が占める割合が大きく、翌年度はその分の事業経費圧縮が見込まれます。

以上の結果、単年度での最終的な収支としては、22,584 千円が平成 27 年度への繰越額となりました。平成 27 年度への繰越額は、①平成 27 年度支援事業への直接的な支出、②平成 27 年度基金運営のための事業経費、③翌年度以降への積立金、という 3 つの用途に使用されます。また、信州大学知の森基金規程第 6 条に定められた業務監査および内部会計監査が行われ、適正に処理されていることが確認されました。

(単位：千円)

	平成 26 年度実績		予算
		対予算	
平成 25 年度末時点での積立額	158,304	-	158,304
収入合計	38,938	△ 16,813	55,751
寄附金受入額	15,522	△ 14,478	30,000
学内負担金 (※1)	23,416	△ 2,335	25,751
支出合計	16,354	△ 3,266	19,620
信州大学知の森基金奨学金	2,400	△ 600	3,000
グローバル人材育成支援	6,590	△ 410	7,000
事業経費 (※2)	7,364	△ 2,256	9,620
平成 26 年度収支	22,584	△ 13,547	36,131
平成 26 年度末時点での積立額	180,888	△ 13,547	194,435

※1：学内の別基金からの移管分と知の森基金以外への寄附金の 3%相当額

※2：事業実施に直接使用する経費の他、寄附管理システムや印刷物作成に使用した事務管理経費を含みます。